

Q&A

はりまや橋小学校区防災連合会（登壇者：広末幸彦会長） 「高知市中心商店街津波避難訓練の取組」

参加者からの質問とはりまや橋小学校区防災連合会からの回答

- Q1** マンションの住民が多いと思いますが、マンション住民の参加はありますか？
A1 主に商店街関係者の方を対象として訓練案内を行っているため、マンション住民の参加は役員などの一部に限られています。
- Q2** 津波避難ビルとして指定されている、わかりやすい建物があれば教えてください。
A2 津波避難ビルについては、高知県防災アプリや高知市公式ホームページで確認することができます。
調べ方：「地域防災推進課 > 津波避難場所（ビル）・避難所 > 津波避難ビル」
- Q3** マンション住民との交流について、工夫していることはありますか？
A3 防災連合会役員の中にマンション関係者がおり、そのネットワークを通じて情報共有を行っています。
- Q4** 訓練の参加案内はマスコミ以外にも行っていますか？また、旅行者や外国人の参加はありましたか？
A4 報道機関には訓練の様子を報道してもらい、事後の周知に役立てています。これまでのところ、一般来訪者や外国人などの飛び込みでの参加はありません。
- Q5** 広域性や津波リスクを踏まえた取組について教えてください。
A5 商店街での津波避難訓練とは別に、住民向けとして「はりまや橋小学校津波避難訓練」を毎年実施しています。訓練後は体育館やグラウンドに関係団体や企業が防災体験ブースを設け、幅広い年代層への防災啓発を行っています。
活動エリアが広域にわたるため、役員の居住エリアも様々であり、関係団体と関わりを持つ役員も多くいます。そのため、役員会で各役員の活動について情報共有を行っています。

春野防災ネットワーク会（登壇者：深瀬 裕彦 会長）

「春野町要支援者・児童・生徒地震避難対策連絡会の取組」

参加者からの質問と春野防災ネットワーク会からの回答

Q1 福祉避難所と指定避難所の区別は周知されていますか？

A1 要支援者の方が直接福祉避難所へ避難しても受け入れできない場合や、指定避難所で受け入れができない要支援者がいる場合には、福祉避難所へ移動していただくことを「要支援者・児童・生徒地震避難対策連絡会」の参加者には周知しています。しかしながら、参加されない自主防災組織や一般の市民には十分に理解されていないと考えられます。今後は福祉部門と防災部門が協働し、より幅広く周知を進めていく必要があります。

Q2 春野地区の避難場所は何か所ありますか？

A2 春野地区には、自然地形の高台を中心に約60か所の避難場所があります。具体的な場所については、高知市公式ホームページで確認することができます。
調べ方：「地域防災推進課 > 各種マップ > 津波避難マップ」

Q3 構成メンバーが多い中で、連携や情報共有に工夫していることはありますか？

A3 春野防災ネットワーク会では、毎月の運営委員会に各地区の代表者や学校関係者が参加し、情報共有や事業計画の協議を行っています。
また、訓練や各種お知らせは自主防災組織を通じて周知するなど、できるだけ多くの情報が行き渡るよう工夫しています。

Q4 津波浸水想定区域内での防災対策はどのように行っていますか？

A4 春野地区では、毎年の県内一斉避難訓練に合わせ、各地区で津波避難訓練の実施を呼びかけています。また、浸水想定区域内の一部地区では、防災意識向上のために定期的に防災ブックを配布したり、避難訓練に合わせて資機材の使用訓練を実施するなど、地域の課題に対して継続的に取り組んでいます。